

PENTAS YAMANASHI Program 2022

あなたの世界を変える
 VUCA時代を
 生き抜くための
 新たな出会い
 新たな学びが




VUCA時代の成長戦略を支える実践的教育プログラム
 山梨県立大学を中心に山梨大学、山梨英和大学、事業協働機関が協力して提供する、
 学生と社会人の垣根を超えた教育プログラムです。

2022年4月より、5つのプログラムを開講します。

3月より受付開始。
 お申込みをお待ちしております。

申込み方法

参加大学 学生			社会人等
山梨県立大学		山梨大学	山梨英和大学
2022年度入学の方 履修登録期間中に、 山梨県立大学の履修登録を 行ってください。	2021年度以前入学の方 PENTAS YAMANASHIの ホームページよりお申込み ください。	履修登録期間中に、 連携開設科目の履修登録を 行ってください。※	履修登録期間中に、 大学コンソーシアムやまなし 経由(単位互換科目履修)で お申込みください。
			PENTAS YAMANASHIの ホームページよりお申込み ください。 https://www.pentas.yamanashi.jp 

参加校以外の大学コンソーシアムやまなし協定加盟大学(単位互換科目履修)の学生は、大学コンソーシアムやまなし経由でお申込みが可能ですが、プログラム修了証の対象ではありません。
 プログラム修了証の取得を目指す場合は、PENTAS YAMANASHIのホームページよりお申込みください(受講料が必要となります)。

※「やまなしワイン入門講座」「地域課題プロジェクト(多文化共生イベント企画)」を受講する場合は、大学コンソーシアムやまなし経由でお申込みください。

山梨県立大学 PENTAS YAMANASHI 教育プログラム長

杉山歩

都会への憧れを胸に東京での就職を考えたり、地元だからという理由で山梨で暮らす。感染症や異常気象が前提となった社会ではこれまで当然と思われていたこんな選択にすら自身の生き方・働き方の意味を問われています。皆さんは今、どの様な生き方・働き方を考えているのでしょうか。

自らのパフォーマンスを最大限解放出来る場所で生きたい、自身のスキルが最大限に発揮出来る場所で働きたい。一見、自己実現に向けた(利己的)動機の様に見えますが、実は自分の持っているポテンシャルを使い、最大限に社会貢献出来る(利他的)方法を模索しているのかもしれない。

それは予測不能な時代=VUCA時代には利己的よりも利他的な生き方や利他的な振る舞いの方が生存確率が高まる事を本能で感じ取っているのだと僕は考えています。

今年度からPENTAS YAMANASHIは開講プログラムを5つに増やしました。どのプログラムも時代のニーズ、地域のニーズから生まれた素晴らしいプログラムです。学びが出口となる時代・地域ニーズと直結する。学びの場が学生・社会人がつながりあうコミュニティとなる。本プログラムがVUCA時代を生きる一助となるよう、祈りを込めて。



PROFILE

1979年生まれ。諏訪町(現富士川町)出身。
 地域資源からの価値創造をテーマにデータサイエンス、観光学、知識科学分野を中心に学際的なフィールドで教育研究活動を行う。
 草木染め技術からの価値創造により2019年に第一回STI for SDGsアワード文部科学大臣賞を受賞。観光分野では顧問として2016、2017年に大学生観光まちづくりコンテスト観光庁長官賞を2年連続で受賞、2020年は同運営協議会事務局局長賞を受賞。
 (一社)Mt.Fujiイノベーションエンジン理事、山梨大学地域人材養成センター特任准教授、北陸先端科学技術大学院大学教育連携アドバイザー。博士(理学)。

PENTAS YAMANASHI 5つの教育プログラム

学生の能力開発、進路相談、実践活動、資格取得といったキャリアに関わる教育プログラムを学部主導の学士課程教育とは別に設計し、地方創生人材育成のため大学・企業・自治体・関係団体で協働的に実践教育を行うシステムを構築しました。

また、「Volatility(変動性・不安定さ) Uncertainty(不確実性・不確定さ) Complexity(複雑性) Ambiguity(曖昧性・不明確さ)時代を自由に越境する術」の習得により、学生自身が今後のキャリア形成において、社内起業・新企画開発などを行える高付加価値人材となる教育プログラムを構築し、スキルアップを目指す社会人に対しても展開し、学生・社会人の垣根を超えた地方創生人材の育成に取り組めます。

※プログラム修了証は所定の単位数を取得した者に授与されます。修了要件は学生と社会人等で異なります。詳しくはウェブをご参照ください。



PENTAS YAMANASHIを支える実務家教員



山梨県立大学 非常勤講師、
タクトピア株式会社 ELT
(英語教育開発推進事業)ディレクター

嶋津 幸樹



山梨県立大学 特任教授、
農業生産法人(株)hototo 代表取締役

水上 篤

プロジェクトコーディネーターからのメッセージ

堀内久雄

山梨県立大学 特任教授、富士大石ハナテラス 広報本部長

将来を見通すことのできない不確実な時代の中でも、様々なジャンルの現場でいくつもの困難を乗り越えて、したたかに今を生きている人々があります。その多様な実践者たちが講師として登壇します。

昨年度からスタートした講座は、想像以上に「熱」っぽいものとなり、参加者にとって心を動かされるものとなりました。

今年度、皆さんが講義に参加し、県内で活躍する先達たちの「多様な生き方」と「熱」に出会うことで、VUCA時代をしなやかに生き抜くための、新たな暮らし方、働き方に向けた第一歩を踏み出すことができると願っています。教室で会いましょう！



VUCA

	レベル	科目名	担当講師	開講時期	選択/必修	最低必修単位数	配当年次	単位数	内容
VUCA科目	2000 基礎(汎用)	VUCA時代の キャリアレジリエンス	水上 篤 杉山 歩	4月	必修	3 単位	1~4年	2	VUCA時代: Volatility(変動性)、Uncertainty(不確実性)、Complexity(複雑性)、Ambiguity(曖昧性)において困難に直面した時に、しなやかに対応していく能力が求められます。本科目では、社会の変化にしなやかに対応していくためのマインドのあり方、手法について学ぶことを目的とします。
	2000 基礎(汎用)	地域のチャレンジ1	堀内 久雄 杉山 歩	10月	選択		1~4年	1	山梨県内で地域づくりの側面から様々な活動にチャレンジしている方々(自治体やNPOでの活動を通して日本から世界へ山梨の魅力発信している方々)を招き、地域にありながらグローバルにチャレンジすることの意味について自ら考えて、地域資源の持つポテンシャルについて認識することを目的とします。
	2000 基礎(汎用)	地域のチャレンジ2	堀内 久雄 杉山 歩	12月	選択		1~4年	1	山梨県内で地域づくりの側面から様々な活動にチャレンジしている方々(山梨県の伝統産業、地場産業でありながら世界と勝負するプロダクトの開発に携わった方々)を招き、地域にありながらグローバルにチャレンジすることの意味について自ら考えて、地域産業の持つポテンシャルについて認識することを目的とします。
	3000 基礎(専門分野)	グローバルマインドとスキル	嶋津 幸樹	10月	選択		1~4年	2	この科目は英語「を」学ぶのではなく英語「で」自分のことと世界のことを探究するプロジェクト型学習の形態をとり、最終発表ではグローバルな自分と世界にインパクトを与えるプロジェクトを英語で発表します。「山梨から世界を変える地方創生プロジェクト」のアイデアをチームで創造し、発信することを目的とします。
	3000 基礎(専門分野)	地域しごと概論(経営マインド)	手塚 伸 今井 久	4月	選択		1~4年	1	経営者の方々の現場からの生の声や受講者への期待を通して、山梨県産業の多様さ・奥深さを理解するとともに、現実の仕事を実感することにより、今後のキャリアを構想するに当たっての基本的な知識や精神的な糧を得ることを目的とします。
	4000 基幹(汎用)	地域しごと概論(地域づくり)	佐藤 文昭	5月	選択		1~4年	2	地域で暮らし働く様々なゲストスピーカーの視点から今日の社会を捉え、仕事を通じてそれと向き合う想いを綴る「ストーリー」を受講者と共有します。5名のゲストスピーカーとの対話を通じて、受講者ひとり一人にとって自らのキャリアを考えていく上での大切なことを探ります。
	4000 基幹(汎用)	問題発見の技法 (旧:提案書作成のためのスキル)	佐藤 文昭	4月	選択		1~4年	1	地域社会の問題において、複雑化・複合化し、目に見えている出来事が「なぜ」、「どのよう」に起こっているのかを、データやディスカッションを通じて一つ一つ解き明かしていくことにより、根本にある問題点はなにかを見つけるための技法を指導します。それにより、今後、様々な分野における学修の基盤となる「問いを立てる力」を身に付けることを目的とします。

観光高度化人材育成プログラム

地域資源の活用方法を学び観光の高度化を図ることができる人材を育成するとともに、新たな地域資源を対象に教育プログラム化し、実務家や専門家から本県の自然・歴史文化財の活用方法を学んでいきます。

プログラムの概要

- ▶ 地域資源を活用した先進事例の紹介
- ▶ ワイン県ならではのワイン関連科目
- ▶ 自然環境のマネタイズ手法を学び、自然文化からの価値創造を図る
- ▶ 観光業で活かせる語学力とホスピタリティマインドの醸成

プログラム責任者からのメッセージ

山梨県立大学 国際政策学部 教授

安藤勝洋

地域でしごとを始めてみたい、またはもっと盛り上げたい!こんなことを考えたことはありませんか? “観光”という切り口にたくさんのヒントがあると思うんです。山梨には、まだまだ眠っている自然、文化、歴史などの資源がたくさんあります。本プログラムでは、地域資源を再発見し、とりまく諸課題にも目を向けつつ、その価値をつなぎあわせて、観光の高度化を図る力を育みます。ネイチャーガイド、ワインやおもてなしのマイスターなど、新たな知識とスキルを身につけて、一緒に地域に飛び出しませんか。



プログラムコーディネーターからのメッセージ

山梨県立大学 特任教授
公益社団法人やまなし観光推進機構 理事長

仲田道弘

地方創生において観光は最も重要な分野です。しかも山梨には、その素材として富士山や南アルプス、八ヶ岳、昇仙峡などの自然景観、日本一多様な泉質を持つ温泉群、縄文や武田氏などの歴史文化、そして、ワインや果物、ジュエリー、織物などの地域産業が身近にあります。しかし、それらを十分に活かしていないという指摘もあります。課題は明確で、それは観光に従事する人々が誇りをもって働く環境、そしてその人々のサービスやおもてなし力だといえます。このプログラムを通し、皆さんで山梨を付加価値が高く魅力あるものにしていくことはありませんか!



PENTAS YAMANASHIを支える実務家教員



人とホスピタリティ研究所代表
(元リッツカールトン日本支社長)

高野 登



(一社)日本ソムリエ協会 理事

長谷部 賢



山梨県立博物館 副館長
「やまなし通訳ボランティアネットワーク」役員
「全国通訳案内士(英語)」 「ソムリエ協会 ワインエキスパート」

新井 達司

レベル	科目名	担当講師	開講時期	選択/必修	最低必修単位	配当年次	単位数	内容	
学部等開講科目については、PENTAS YAMANASHIホームページ及び、山梨県立大学シラバスをご覧ください。									
技能科目	4000 基幹(汎用)	地域資源の保全と活用	堀内 久雄 杉山 歩	4月	必修		1~4年	2	山梨県には豊かな観光資源(文化と自然)があり、持続的な観光開発には自然環境、文化資源を保全しながら開発を進めていく必要があります。多彩なゲスト講師をお招きし、実際に行っている活動についてお話を伺いながら、自らのように行動していくか考え、自然や文化の保全と観光をどのようにバランスさせていくかについて理解してもらおうことを目的とします。
	3000 基礎(専門分野)	料理とワインのマリアージュ	長谷部 賢 堀内 久雄 杉山 歩	①10月 ②11月	選択		1~4年	1	ワインと料理には密接な関係があり、適切なワインと料理を選択することで相乗効果生まれ、相互を引き立たせることができます。本講座では、基本的な組み合わせのルールについて理解してもらおうとともに、山梨県産のワインと食材を活用して実際に料理とワインの組み合わせ方について体験的に学ぶことを目的とします。
	2000 基礎(汎用)	まちづくりの思想と技術 (旧:地域課題解決)	田中 友悟	10月	選択		1~4年	2	地域課題の解決には、問題を捉えて構造化する分析力、資源をつなぎあわせて価値をうみだす編集力、活動を事業へと育てていく企画力など、複合的な能力が求められます。世間一般には抽象的とされる「まちづくり」という概念を捉えなおし、私たちの身近な行為である「作る」と「使う」の視点から私とまち(地域)を結びまちづくりの技術・姿勢を学びます。
	3000 基礎(専門分野)	ローカルガストロノミー論	宮下 大輔 安達 義通	4月	選択		1~4年	1	ローカルガストロノミーとは、地域の食や食文化について総合的に考察する学問です。食はすべての源であり、食についての様々な事象について深く理解ししっかり考察することはあらゆることに通ずることだと考えます。ローカルガストロノミーの考え方、概論を良く理解したうえで、食を軸に山梨の創生に寄与するような考えを育むことを目的とします。
実践科目	4000 基幹(汎用)	ローカルデザイン実践演習 (旧:地域課題解決演習)	田中 友悟	7月	選択		1~4年	1	地域課題の解決には、問題を捉えて構造化する分析力、資源をつなぎあわせて価値をうみだす編集力、活動を事業へと育てていく企画力など、複合的な能力が求められます。「まちづくり」「デザイン」の思考法をもとに実際の地域課題の現場に入って企画提案を試みることで、VUCA時代に必要とされる実践的な思考法やプロジェクト立案力を身につけることを目指します。
	3000 基礎(専門分野)	事業づくりの技法 (旧:地域課題創造的解決演習)	佐藤 文昭	4月	選択		2~4年	1	地域づくりのための新たな事業を生み出すためには、それを生み出す人の想いやエネルギーが大切です。個人ワークやグループワークを通じて、地域において事業を生み出していくためのプロセスについて指導を行い、学生ひとり一人の興味関心から自分軸を見つけ、そこから社会とのつながりの中で他者を巻き込みながら新たな事業を起こしていくためのマインドとスキルの基礎を身につけることを目的とします。
	5000 基幹(専門分野)	通訳入門実践	新井 達司	10月	選択		1~4年	1	外国人観光客が訪れる本県では、英語での通訳ガイドの必要性が喫緊の課題となっています。まずは対象となるコンテンツを深く理解した上で、多様で楽しく説得力のある英語表現を学んでいきます。地域に密着し特化したテーマを対象に、県内で即戦力として使える人材の育成、日本遺産昇仙峡や日本ワインを想定した、通訳案内が可能となることを目標とします。
	5000 基幹(専門分野)	実用中国語	賀 南	12月	選択		1~4年	1	中国語圏の観光客に焦点を当てた、実践的なガイド研修を行います。観光案内に必要な基本的なやり取りを中心に、本県をガイドする際に使用頻度が高い単語、基本文型、そして会話時のポイント等を学んでいきます。特に実践性を重視し、県内の武田神社と甲州夢小路を想定し、通訳案内が可能となることを目標とします。
	3000 基礎(専門分野)	ネイチャーガイド演習1	吉田 均	10月	選択		1~4年	1	山梨県には、世界文化遺産やユネスコエコパークなど、自然の美しさはもちろん、多様な歴史や文化を色濃く残す山岳地域が広がっています。ネイチャーガイドをキーワードに、山岳信仰などの地域の歴史や文化なども紹介しながら、季節に合った多様な視点で、その現代的な意義や概要を学びます。また実際に県内で実施されているネイチャーツアーに参加し、体験的な学習を行います。
	3000 基礎(専門分野)	ネイチャーガイド演習2	吉田 均	11月	選択		1~4年	1	ネイチャーガイドをキーワードに、自然環境や歴史文化財を、多様な視点でのツアーを通じて学びます。特に「甲武信ユネスコエコパーク」内でのネイチャーツアーの企画立案と運営の補佐ができる実践的学習を目標とします。当日は、日本遺産「御嶽昇仙アシスタントガイド研修」に参加することで、その企画や実施方法を体験的に学びます。
	6000 応用	日本ワイン歴史マイスター養成講座	仲田 道弘 安藤 勝洋	10月	選択		1~4年	1	山梨県の地域資源として産業・観光分野で注目を集める「日本ワイン」をテーマに、明治期日本ワインに携わった人物にフォーカスを当てた学びです。日本のワインの歴史について学び、キャリアに活かしたい方を対象とします。ワインに関する新たな視点・知識を獲得し、自身の仕事・キャリアをより創造的なスタイルにスケールアップすることを目的とします。
	2000 基礎(汎用)	おもてなしマイスター養成講座	高野 登 安藤 勝洋	10月	選択		1~4年	1	「おもてなし(ホスピタリティ)」とは、観光に携わる人たちだけのものと思われがちですが、そうではなく、「何を以って何を為す」のかを常に心に思い描くということです。サービス・ホスピタリティの意味を理解し、さらにプランニングや付加価値創造について事例を中心に学んでいきます。また、付加価値創造を生み出すための人材育成や組織経営のあり方についても学びます。
	2000 基礎(汎用)	観光実践マネジメント講座	仲田 道弘 杉山 歩	10月	選択		1~4年	1	経営ジャーナリスト・中小企業診断士である瀬戸川礼子さんが約30年にわたる取材の中で培った知見を、現役の女将さんとともに紹介していく講義となります。観光サービス業をはじめ、あらゆる事業に欠かせない高付加価値化。この土台となる考え方と具体的な実践マネジメント方法を、良い会社の実例とともに学んでいきます。
1000 入門	やまなしワイン入門講座	長谷部 賢 堀内 久雄 杉山 歩	6月	選択		1~4年	1	日本の産業ワイン発祥の地であり、日本を代表するワイン産地である山梨県ですが、どんな所が評価されているのかすぐに答えられる人は少ないと思います。本講義では山梨ワインの魅力について座学と現地視察を通して、産業・観光の両面から学びます。	

地域づくり加速化人材育成プログラム

地域づくりの中心を担い、社会変革力の醸成を担う事ができる人材の育成を目的に、更なる地域住民との交流・対話の場を設け、実践的な授業を展開していきます。

プログラムの概要

- ▶ 高い志をもった公務員の育成
- ▶ ハイレベルなコンピテンシーを身に付けた人材の育成
- ▶ 地域の課題を発掘する手法の習得
- ▶ 実践的な企画立案能力の醸成

プログラム責任者からのメッセージ

山梨県立大学 国際政策学部 教授

箕浦 一哉

地域づくりには、地域社会についての理解、問題の発見、政策や事業の立案、多様な主体とのコミュニケーション、といったさまざまな要素があります。こうした内容について、現場での実践経験の豊富な講師陣とともに学ぶことができるのが本プログラムです。公務員や地域での仕事を志す学生のみならず積極的に受講していただきたいです。また、地域に関わる社会人のみならずもぜひ受講していただきたい内容です。本プログラムが意欲ある学生と社会人が集まる場となることを願っています。



プログラムコーディネーターからのメッセージ

山梨県立大学 特任教授
公益財団法人山梨総合研究所 調査研究部長

佐藤 文昭

皆さんは、未来の地域にどんな夢を抱いていますか？
皆さんは、今の地域にどんな不安や不満を抱えていますか？
私たちが暮らす日々の暮らしの中には、様々な問題があります。しかし、私たちはそれに気づかず、見過ごしてしまっているのかもしれない。
地域に暮らす人々の有する不安や不満を感じる感性を育み、そこから生まれる自分自身のエネルギーを、自らが思い描く未来を実現することにつなげていく。「地域づくり」という科目を通じて、そんなことを一緒に考えてみませんか。



PENTAS YAMANASHIを支える実務家教員



山梨県立大学 特任助教
一般社団法人山梨市ふるさと振興機構
代表理事

田中 友悟



	レベル	科目名	担当講師	開講時期	選択/必修	最低必修単位	配当年次	単位数	内容
学部等開講科目については、PENTAS YAMANASHIホームページ及び、山梨県立大学シラバスをご覧ください。									
技能科目	5000 基幹(専門分野)	ワークショップデザイン (旧:コミュニケーション手法)	田中 友悟	5月	選択	3 単位	1~4年	2	複雑化する社会に向き合うためには、立場や主義主張を超えたコミュニケーションによる課題解決や新しい問題設定の力が求められます。社会課題解決のためのコミュニケーション能力の習得を目的として、参加・共創型社会に求められるワークショップデザインの技術・姿勢を実践的に学び、効果的な対話の場をつくる能力を身につけます。
	2000 基礎(汎用)	まちづくりの思想と技術 (旧:地域課題解決)	田中 友悟	10月	選択		1~4年	2	地域課題の解決には、問題を捉えて構造化する分析力、資源をつなぎあわせて価値をうみだす編集力、活動を事業へと育てていく企画力など、複合的な能力が求められます。世間一般には抽象的とされる「まちづくり」という概念を捉えなおし、私たちの身近な行為である「作る」と「使う」の視点から私とまち(地域)を結びまちづくりの技術・姿勢を学びます。
	3000 基幹(専門分野)	情報発信の手法	杉山 歩	4月	選択		1~4年	2	近年、マーケティング手法としても広く認識されているSNS等について、正しい情報発信の手法を学ぶと共に、目的としての情報発信ではなく、手段としての情報発信の意義について学びます。特に、ブランディングの視点から情報発信の意義を学び、企業ブランディング、セルフブランディングにつながる情報発信について外部の講師陣とともに実践的に学びます。
実践科目	3000 基礎(専門分野)	事業づくりの技法 (旧:地域課題創造的解決演習)	佐藤 文昭	4月	選択	4 単位	2~4年	1	地域づくりのための新たな事業を生み出すためには、それを生み出す人の想いやエネルギーが大切です。個人ワークやグループワークを通じて、地域において事業を生み出していくためのプロセスについて指導を行い、学生ひとり一人の興味関心から自分軸を見つけ、そこから社会とのつながりの中で他者を巻き込みながら新たな事業を起こしていくためのマインドとスキルの基礎を身に付けることを目的とします。
	3000 基礎(専門分野)	政策づくりの技法 (旧:地域づくり人材育成講座)	佐藤 文昭	4月	選択		2~4年	1	主に、自治体への就職を考えている学生や若手自治体職員を対象に、自治体政策担当者の視点から、ワークショップ形式により企画政策を立案するのに必要となる基礎的な知識や考え方を指導します。
	4000 基幹(汎用)	ローカルデザイン実践演習 (旧:地域課題解決演習)	田中 友悟	7月	選択		1~4年	1	地域課題の解決には、問題を捉えて構造化する分析力、資源をつなぎあわせて価値をうみだす編集力、活動を事業へと育てていく企画力など、複合的な能力が求められます。「まちづくり」「デザイン」の思考法をもとに実際の地域課題の現場に入って企画提案を試みることで、VUCA時代に必要とされる実践的な思考法やプロジェクト立案力を身につけることを目指します。
	5000 基幹(専門分野)	事業づくり実践演習 (旧:地域づくり人材育成演習1)	佐藤 文昭	6月	選択		2~4年	1	様々な地域課題を解決するためには、新たな事業を企画しそれを実践していくためのスキルとマインドが求められます。受講者が関心を持つ地域課題をテーマとし、その解決のための新規事業を企画立案・試行することを通じて、事業を生み出すためのプロセス及び手法を実践的に指導します。
	5000 基幹(専門分野)	政策づくり実践演習 (旧:地域づくり人材育成演習2)	佐藤 文昭	6月	選択		2~4年	1	モデル自治体について、統計データ他の情報を収集分析して課題を抽出し、現場のヒアリングなどの調査を行い、取り組み可能な問題点を探します。その問題点をどう改善するかアイデアを出しあい、具体的な企画案を通じて政策づくりのプロセスを学ぶとともに、相手に伝わるプレゼンテーションを考えます。

醸成プログラム ビジネス構想力・経営マインド

県の基幹産業である製造業等において求められる人材を育成するため、実務家教員を最大限活用し、新規でビジネスを構想する力を養うとともに、経営マインドの醸成を図ります。

プログラムの概要

- ▶ 企業がチャレンジしている経営革新の紹介
- ▶ 食を通じた地域経済への貢献手法
- ▶ 事業計画の作成やイノベーション創造までの実践的手法
- ▶ トレンド予測やブランディング等、ビジネス構想力の醸成

プログラム責任者からのメッセージ

山梨県立大学 国際政策学部 教授

安達 義通

本プログラムは、(公財)やまなし産業支援機構の全面的なバックアップのもとに構築されたプログラムです。国内の第一線で活躍されている実務家の講義を受講しつつ、製造業を中心に県内企業が実際に抱える課題やその解決策について受講生同士のディスカッション等を通して考えたり、実際に事業計画を作成する実践的なプログラムです。

また、トレンド予測、イノベーション、ブランディング、国際貿易実務など、多くの業種にとって不可欠な科目も揃えています。さらに、食の総合科学の地域版とも言えるローカルガストロノミーという新しい科目も配置しました。

このプログラムを受講することによって、事業構想力や経営マインドを醸成することができると考えています。現在の業務レベルをアップさせたいと考えている社会人、産業や経営の実践的な活動に興味のある学生の受講を歓迎します。



プログラムコーディネーターからのメッセージ

山梨県立大学 特任教授
公益財団法人やまなし産業支援機構 理事長

手塚 伸

アントレプレナー、ベンチャー、スタートアップなど、日本の産業政策では経営の担い手を表現する横文字が、正確な定義も確立しないうちに猫の目のように変わります。そして、曰く起業家精神が足りない、故にユニコーンもデカコーンも生まれないと悲観する。このことは正しいのでしょうか。足元を見ると山梨県は、全てのものづくり産業の基礎となる、半導体産業の上流部分に当たる半導体製造装置・検査装置に関連する企業、工作機械に関連する企業、一方、ワインやジュエリー、テキスタイルなど国際商品であり、かつ、地域の文化装置としても重要な産業の一大産地です。そしてこうした土壌を基盤に、さらに多彩な経営者が独自の経営哲学を確立して優れた経済活動を行い、冒頭の悲観論とは異なる世界が展開しています。これから始まるプログラムは、こうした企業経営をベースに学び、蓄えられる知と行動力でVUCA時代を恐れず自身を深める術を身につけることです。多くの方のご参加をお待ちします。社会人の方を含め、多くの学生の受講をお待ちしています。



PENTAS YAMANASHIを支える実務家教員



株式会社可不可 代表取締役社長
レストランプロデューサー
ワイン県やまなし美食ブランド創造アドバイザー

宮下 大輔



(一社)微細加工工業会事務局長
(株)微細切削加工研究所執行役員
Forbes Japan Small Giants 審査委員長

内田 研一



中矢一虎法律事務所
(司法書士・行政書士)代表

中矢 一虎



Edelkoort East株式会社
代表取締役

家安 香



株式会社エムテ代表取締役
アートディレクター、デザイナー

田子 學



山梨県立大学特任教授
(公財)山梨総合研究所 理事長

今井 久

レベル	科目名	担当講師	開講時期	選択/必修	最低必修単位数	配当年次	単位数	内容	
学部等開講科目については、PENTAS YAMANASHIホームページ及び、山梨県立大学シラバスをご覧ください。									
技能科目	2000 基礎(汎用)	企業がチャレンジする経営革新	内田 研一 手塚 伸 安達 義通	6月	必修		1~4年	1	経営環境の不確実性等に対処するため、企業は常に経営革新を行っていく必要があります。県内企業を中心としたケーススタディ(事例研究)を通して、企業の経営革新の意義とその手法について学んでいきます。特に、研究開発、ブランディング、マーケティング等、事業成功のキーとなる事項に着目し、講師と受講者とのディスカッションを通して理解を深めていきます。
	3000 基礎(専門分野)	ローカルガストロノミー論	宮下 大輔 安達 義通	4月	選択	3単位	1~4年	1	ローカルガストロノミーとは、地域の食や食文化について総合的に考察する学問です。食はすべての源であり、食についての様々な事象について深く理解ししっかり考察することはあらゆることに通ずることだと考えます。ローカルガストロノミーの考え方、概論を良く理解したうえで、食を軸に山梨の創生に寄与するような考えを育むことを目的とします。
	5000 基幹(専門分野)	国際貿易実務	中矢 一虎 今井 久 手塚 伸	6月	選択		1~4年	1	貿易実務の基本体系知識について、演習を交えて学んでから海外営業の基本を習得します。前半は輸出と輸入の重要なルールや貿易関係情報の読み方からコストの計算まで、貿易取引に必須の知識を網羅し、後半は海外営業の具体的な取り組みとして海外取引先に対する対応や輸出代金回収リスク・外国為替相場変動リスクの回避方法を学びます。輸出用サンプル出荷から正式受注までの実務についても事例を通して習得します。
実践科目	2000 基礎(汎用)	事業計画づくりワークショップ	内田 研一 手塚 伸 今井 久	10月	選択		2~4年	1	VUCA時代のキャリア形成において、組織において新規事業を立ち上げる際あるいは起業時に、様々な要素を勘案した有効かつ創造的な事業計画を構想できる能力は極めて重要です。事業計画策定の際に求められる、事業理念の構築、マーケティング、商品設計、資本政策、ブランディングなど、一連の事業計画策定の基礎的な手法を演習形式で学びます。
	3000 基礎(専門分野)	トレンド予測の手法	家安 香 手塚 伸 今井 久	11月	選択		1~4年	1	マーケティングの入口で必要となる未来予測は極めて重要なステップですが、VUCAの時代においてこれを的確に捉えることは極めて難しいもの、重要かつ必須の課題となっています。不確実な時代にあっても、如何にして中長期的なトレンドを如何に予測していくか、これをもとにどのような未来戦略を描いていくかに関し、有効な知識とスキルを習得することを目的とします。
	4000 基幹(汎用)	イノベーション創造の基礎と実践	田子 學 手塚 伸 今井 久	12月	選択	4単位	2~4年	1	企業経営の現場において、「斬新な」アイデアはそう簡単に浮かんできませんが、手持ちの情報であっても、掛け合わせのコツや発想のプロセスを実践することで面白いアイデアやビジネスに変貌(イノベート)させることが可能となります。こうした新しいアイデアを発想する過程、それをイノベートするスキルを具体例やワークを交えながら学び、イノベーションを創造できる思考体系を身につけていきます。
	4000 基幹(汎用)	ブランディング基礎と実践	田子 學 手塚 伸 今井 久	10月	選択		2~4年	1	企業経営に必要なブランディングの基礎知識と実践する際の思考方法や具体的手法を学び、特に中小企業に不足しがちな精度の高い事業開発、実行力の高いブランドチームの育成、デザイン・広報など、ブランド構築の手法について、講座・ワークショップで体験し学び、受講者が高いブランディング能力を習得することを目指します。
5000 基幹(専門分野)	企業におけるレクチャーと現場研修	手塚 伸 今井 久	8月	選択		1~4年	1	山梨県内には、多様なものづくり企業が身近な経済社会のみならず、グローバルな経済社会の循環に必要な製品・サービスを提供しています。こうした企業の現場に赴き、経営者等から企業活動の理念や概要を伺うと同時に、生産の現場を視察し、ものづくりの仕組み、戦略を体感します。	

多文化共生対応人材育成プログラム

医療・福祉・教育の現場の国際化・多文化化の課題を理解し、解決するための方策を見出すことのできる人材を育成します。

プログラムの概要

- ▶ 多文化共生の現場を訪問
- ▶ 多様な背景をもつ人々とのコミュニケーション力の醸成
- ▶ 芸術をとおした多様な人々との協働の体験
- ▶ 多文化化する保健・医療・福祉現場で活躍できる人材育成

プログラム責任者からのメッセージ

山梨県立大学 看護学部 教授

長坂 香織

グローバル化による国境を越えた人・物の移動の活発化と相俟って、日本社会は「多文化共生社会」への変革を迫られています。このプログラムの目的は、日本社会の多文化・多様性に関わる複雑な現状と課題を理解し、多様な背景を持つ人々と協働・共生するための実践的な能力を備えた「多文化共生対応人材」の育成にあります。教育、保健、医療、福祉の専門職は勿論、すべての職業で必要とされる能力であり、まさに現代的教養と言ってよいでしょう。「共生」への道のりは厳しく遠いのが現実ですが、多様な受講者と共に新しい社会にむけた学びを深めましょう。留学生も大歓迎です。



プログラムコーディネーターからのメッセージ

山梨県立大学 特任教授
公益財団法人山梨県国際交流協会 事務局長

弦間 正仁

17,000人。これは山梨県に住んでいる外国人の人数で、全国26番目です。人口の少ない本県(全国42番目)にとっては、決して少ない数ではありません。国籍や民族などの異なる人々が、お互いの文化を認め合い、地域社会の一員として共に力を合わせて生きていく「多文化共生社会の実現」は、とても重要なテーマです。本プログラムでは、「多文化共生」について基礎から専門分野までトータルで学べる画期的な講座を用意しました。医療、福祉、教育、地域社会などの各分野で実際の業務に従事する講師から生の声を聴き、実際の現場を見て肌で感じ取ってもらいながら、地域の抱える様々な課題の解決策を考えていきたいと思っています。社会人の方を含め、多くの学生の受講をお待ちしています。



PENTAS YAMANASHIを支える実務家教員



神奈川県勤労者医療生活協同組合 港町診療所 所長

沢田 貴志



(特非) 青少年自立援助センター 多文化コーディネーター

ピッチフォード 理絵



世界保健機関(WHO) グローバル結核プログラム 医官

錦織 信幸



俳優 声楽家

山野 靖博



(特非) 国際活動市民中心 (CINGA) コーディネーター

新居 みどり



舞台演出家 脚本家

中原 和樹

レベル	科目名	担当講師	開講時期	選択/必修	最低必修単位	配当年次	単位数	内容	
学部等開講科目については、PENTAS YAMANASHIホームページ及び、山梨県立大学シラバスをご覧ください。									
技能科目	4000 基礎(汎用)	多文化共生地域課題 (多文化社会における対人援助/外国人と人権)	新居 みどり	4月	必修	3単位	2~4年	2	多文化化する地域における外国人住民の現状を知り、その諸課題について理解します。そして、世界につながる地域社会の一員として、多文化共生社会の実現にむけた方途について考察し実践する力を身につけていきます。
	3000 基礎(専門分野)	多文化社会とことば	長坂 香織	10月	選択		1~4年	1	多文化共生社会/異文化コミュニケーションにおける複雑に絡み合った、3つの壁「ことば、文化、制度」の内、「ことばの壁」に焦点をあて、乳幼児期からの言葉の発達と母語・継承語による関わりを含めた、多文化共生社会における言語支援について理解し、多文化共生に向けて、その知識を仕事や人生などにどのように活かすか、自分には何ができるのか考えることを目的とします。
	5000 基礎(専門分野)	保健医療福祉における文化理解	錦織 信幸	10月	選択		2~4年	1	病を経験するすべての個人がそれぞれ固有の社会文化的背景を抱えており、他者を理解する際の前提条件として、相手によって立つところの「文化」を理解することから始めなければいけない、より広い意味での文化理解を取り扱います。他者の文化を探索し理解することから病の経験をとらえる医療人類学的なアプローチについて学び、その延長線上に、多文化共生社会における文化理解への道筋を見出していくことを目的としています。
	2000 基礎(汎用)	地域課題解決(多文化共生)	弦間 正仁 長坂 香織 杉山 歩	11月	選択		1~2年	1	17,000人を超える外国人の方が山梨県に在住しており、母国と異なる文化やルールの中で様々な不安や悩みを抱えながら生活しています。多文化共生の各分野で活躍されているゲスト講師から実際の現場での取り組み内容等を学び、全ての外国人を孤立させることなく、社会を構成する一員として受け入れていくという視点に立ち、多文化共生社会の実現に向けた課題やその解決策等を考察し理解することを目的とします。
実践科目	3000 基礎(専門分野)	多文化共生サービスラーニング	弦間 正仁 長坂 香織	7月	選択	4単位	2~4年	2	異文化を背景にもつ人々の就労現場、教育現場等での一定期間にわたる体験、活動等を通して現状と課題を学び、共生に求められる現場の在り方について考察していきます。また、各々の経験と学びを学生間で共有し、意見交換して理解を深めます。
	2000 基礎(汎用)	芸術活動をとおした多様性協働プロジェクト	山野 靖博 中原 和樹	5月	選択		1~4年	2	自立した個人として他の個人と向き合い、対話し、それぞれの立場と役割を受け入れ合うことで、独りでは到達し得ない演劇創作の体験を目指します。自己の内省と他者への開示、他者の受け入れを軸として表面上ではない深い対話を進めていき、社会的レイヤーから切り離れた人間同士としての交流と繋がりを構築することが必要となり、自分も生き、相手も生きるという道を探求し、自身の観点を広げ、鋭く成長させていきます。
	2000 基礎(汎用)	多文化共生の現場を歩く	弦間 正仁 長坂 香織	8月	選択		1~4年	1	多文化共生に関わる現場に足を運び、実際に見て、その現場の方の話を聴くことを通して、多文化共生の現状と課題を肌で感じ、理解します。また、それらの課題解決に向けた現場の対処について学び、多文化共生を自分事として考える姿勢を身につけます。
	4000 基礎(汎用)	地域課題プロジェクト (多文化共生イベント企画)	錦織 信幸 長坂 香織 杉山 歩	12月	選択		1~4年	1	1990年の入管法改正から在留外国人の急激な増加がみられ、多文化共生社会に向けた取り組みが数多く見られるようになってきましたが、地域の多文化共生は進んでいるとは言えないのが現実です。地域の多文化共生の現状と課題を理解し、多文化共生を進展させてきた全国の好事例を学び、多文化共生に資する対話型プロジェクトの企画・運営(実施)の方法について理解し、実際に体験していきます。
	6000 応用	多文化対応人材育成演習(教育)	ピッチフォード 理絵	4月	選択		2~4年	1	日本語指導が必要な全国の公立小学校から高等学校に在籍する外国人児童生徒や海外にルーツを持つ日本国籍者の多くは、一時的な日本滞在ではなく今後も日本に住み続け将来日本社会の一翼を担うこととなります。彼らのおかれた環境、背景を理解し、国、自治体、地域、学校の取り組みを知り、彼らの成長を支えるために組織として、また個人として何ができるか考える力を養います。
	6000 応用	多文化対応人材育成演習(保健・医療・福祉)	沢田 貴志	6月	選択		2~4年	1	国境を越えた人の移動が活発化するグローバル化の進行の中、保健・医療・福祉の各分野においても外国人住民の、人として、また生活者としての権利の保障がますます重要となっています。日本での現状と課題を理解し、課題解決にむけた具体的な対応・取り組みを考え、専門職としての実践ができることを目的とします。

次代を担うアントレプレナー養成プログラム

自らの課題をビジネスの手法で解決する能力を養い、「起業家精神」を有する人材を養成するとともに、学生と社会人が相互に学び合い、新たな視点で事業を構想することのできる場を提供していきます。

プログラムの概要

- ▶ 起業家(実務家教員)による実践的な授業
- ▶ 世界で通用するビジネススキルの獲得
(山形大学アントレプレナーシップ育成プログラムの活用)
- ▶ ビジネスプランコンテストへの出場とマルチステークホルダーによるメンタリング

プログラム責任者からのメッセージ

山梨県立大学国際政策学部 准教授

杉山 歩

今後10年、20年の間に多くの仕事が無くなると言われる一方、創造性や協調性が重要な業務は今後も残り続けると言われています。本プログラムは起業に関わる世界のトレンドを学び、そのマインドセットを体得する事を目的としますが、その課程で創造性と協調性を学ぶ事が最も大切と考えています。創造力を駆使し課題解決プランを描き、メンターと協調してのブラッシュアップ、プレゼン。本プログラムは自身の専門分野での可能性を大きく伸ばし、未来を創造します。



プログラムコーディネーターからのメッセージ

山梨県立大学 特任准教授

ヴィジヨナリーパワー株式会社代表取締役 CEO

戸田 達昭

世の中はサービスで出来ています。それは課題を解決するものであったり、それは人生を豊かにするものだったりします。皆さんにはサービスを楽しむ側ではなく、新しい世界観を作っていく側の存在になっていただくべく、国内外の一流のマインドセットとスキルセットに触れるとともに実践の場を提供することで起業家精神溢れる次代の担い手になっていただきたいと思います。可能性に満ち溢れた山梨を一緒に彩っていきましょう！



	レベル	科目名	担当講師	開講時期	選択/必修	最低必修単位	配当年次	単位数	内容
技能科目	2000 基礎(汎用)	アントレプレナーシップとスキル	戸田 達昭 今井 久	10月	選択	3単位	1~4年	2	国内における起業家教育で極めて高い評価を得ている山形大学と連携し、各地で活躍されている方々の取り組みをビデオコンテンツで学び、優れた起業家のマインドセット、スキルセットに触れるとともに、履修生徒内でチームを作り、具体的なビジネスモデルを構築し実践をしていきます。理論と実践の両輪で、地方創生の担い手たる起業家の育成を目的としています。
	3000 基礎(専門分野)	グローバルビジネススキル	戸田 達昭	12月	選択		1~4年	1	世界で活躍している方の活動を、ビデオコンテンツの視聴と担当教員による解説を通して、グローバルで戦えるビジネススキルを学びます。事業戦略、知的財産の活用、マーケティング、ファイナンス、M&Aをテーマとした一流の取り組みや世界一の大学併設インキュベーターであるDMZとの連携により英語でのコンテンツに触れ、グローバルビジネススキルの向上も目的としています。
実践科目	4000 基礎(汎用)	アイデア共創実践	戸田 達昭 杉山 歩	6月	選択	3単位	1~4年	1	自分がどのような社会を作っていきたいのか(よりよい社会を作っていきたいのか、あるいは課題を解決したいのか)、事業を通じて実現するのが起業です。多くの先輩起業家や専門家たちをメンターとして迎え、事業をデザインしていく方法とそれを相手に伝える方法(プレゼンテーション)を学び、実践することを目的としています。
	5000 基礎(専門分野)	ビジネス共創実践	齊藤 浩志 今井 久	9月	選択		1~4年	2	「やりたいことをやる」ことこそ、これからの時代、会社が倒産する等どんな逆境に遭遇したとしても、独自に生きていく力になります。「Mt.fujiイノベーションキャンプ」への参加を通じて、社会に存在する課題を自分ごととして捉える課題の発見力や共感力を育むとともに、不確実性の高い環境下でも未来創造や課題解決に向けた行動を起こしていくための精神と態度を学ぶ機会とします。

社会人等 山梨県立大学2021年度以前入学の方 お申込み・受講方法

STEP 1 メールアドレスの登録

山梨県立大学PENTAS YAMANASHI ウェブサイト「受講者メニュー」よりメールアドレスを登録してください。登録されたメールアドレスに、申込コードが通知されます。

お申込みはこちらから



STEP 2 受講申し込み・受付

受講者メニュー画面の「受講の申し込み」より、氏名等必要事項の入力及び受講を申し込む科目の選択欄にチェックを入れてください。ご入力後、受講申込完了のご案内メールを確認してください。なお、申込者が定員を超えた科目は受講できない場合があります。受講が確定するまでしばらくお待ちください。

STEP 3 受講確定の連絡・受講料の振込についてご案内

受講内容が確定いたしましたら、受講確定の連絡と受講料の振込についてメールでご案内いたします。期日までに指定の口座へお振込みください。 ※お振り込みの際、振込者の欄に「[受講生コード]{カナセイ}{カナメイ}」と入力・記載してください。 ※振込手数料は本人負担となります。 ※入金を確認できない場合は受講が出来ませんので、ご了承ください。

山梨県立大学の学生は無料になります。

受講料

1単位 14,300円(税込)

2単位 28,600円(税込)

STEP 4 受講確定後のお願い(顔写真の提出について)

受講時等におけるご本人様確認の為、お顔が確認できるお写真の提出をお願いしております。受講者には、別途ご案内いたします。

キャンセル・返金について

講座のお申し込みをキャンセルする場合は、メール(cocr-pentas@yamanashi-ken.ac.jp)にてお問い合わせください。ご入金後の返金は致しかねますので、ご了承ください。

STEP 5 受講スタート

事前に、講義内容及び授業日程等はシラバスをご確認ください。

PENTAS YAMANASHIに関する情報はホームページよりご覧ください。プログラム内容やイベント情報を随時更新中です！
https://www.pentas.yamanashi.jp/



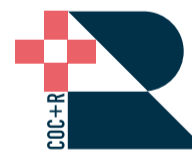
PHOTO:2021年度「ネイチャーガイド演習2」
中村侑太郎(山梨県立大学 国際政策学部 国際コミュニケーション学科 3年生)

COC+Rとは?

地方創生に向けては、当該地域にある高等教育機関が核となって、その地域の経済圏における教育と職業、教育と新たな産業を結びつけていく活動が不可欠です。

人生100年時代においては、高等教育機関には多様な年齢層の多様なニーズを持った学生を教育できる体制が必要となるため、いわゆる就職氷河期世代も含めた様々な社会人に対しても受けやすく即効性のある出口一体型人材養成の確立が求められています。

文部科学省の補助事業であるCOC+Rは大学・地方公共団体・企業等の各種機関が協働し、地域が求める人材を養成するための指標と教育カリキュラムを構築し、指標に基づき、出口(就職先)が一体となった教育プログラムを実施するものです。



大学による地方創生人材教育プログラム構築事業

Centers of Community —
Project for Universities as Drivers of Regional Revitalization
through New Human Resources Education Programs

事業協働機関

- ・山梨大学
- ・山梨英和大学

事業協働機関

- ・山梨県
- ・公益財団法人山梨総合研究所
- ・公益財団法人やまなし産業支援機構
- ・公益社団法人やまなし観光推進機構
- ・公益財団法人山梨県国際交流協会
- ・一般社団法人Mt.Fujiイノベーションエンジン
- ・株式会社タンザワ
- ・萌木の村株式会社
- ・昭和産業株式会社



お問い合わせ先

山梨県立大学 飯田キャンパス
社会連携課

〒400-0035 山梨県甲府市飯田5-11-1
TEL:055-225-5412
E-mail:cocr-pentas@yamanashi-ken.ac.jp
HP:https://www.pentas.yamanashi.jp/

こちらで
情報を発信



Facebookページ

山梨大学 地域人材養成センター支援課

〒400-8510 山梨県甲府市武田4-4-37 TEL:055-220-8449
HP:https://hr.yamanashi.ac.jp

山梨英和大学

〒400-8555 山梨県甲府市横根町888 TEL:055-223-6020
HP:https://www.yamanashi-eiwa.ac.jp/